



学校だより

令和 6 年度学校評価アンケート集計結果

令和 7 年 2 月 7 日
練馬区立田柄第二小学校
校長 岩井 一 雄

教育目標：◎思いやる子供 ・元氣な子供 ・考える子供

学校評価アンケート集計結果

日頃より本校の教育活動へのご理解ご支援をいただきありがとうございます。
2学期末にご協力いただきました、児童／保護者アンケートの結果をまとめました。

回答数 保護者 363(75%)
児童 437(90%)

「とてもそう思う」「ややそう思う」について、
昨年度からの変容を数値で示しています。

※グラフの見方

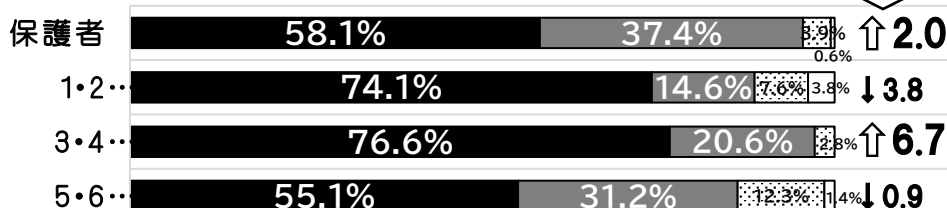
とてもそう思う

ややそう思う

あまり思わない

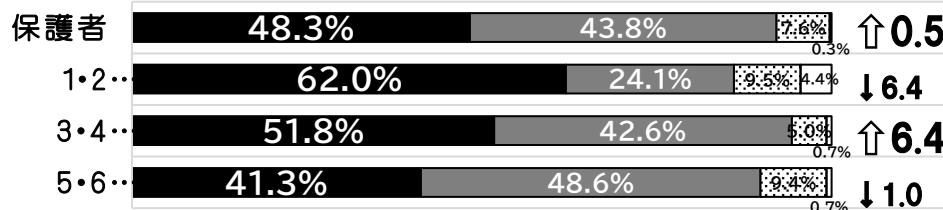
全く思わない

① 毎日楽しく学校に通っている



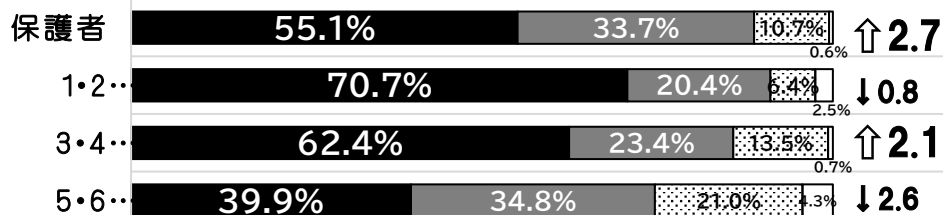
児童と保護者の回答ともに約9割が高評価でした。そうでないと答えた子も含め、日々の子供たちの表情をよく読み取り、心配事を抱えず学校で過ごせるよう配慮しています。

② 進んで学習に取り組み、学んだことを理解している



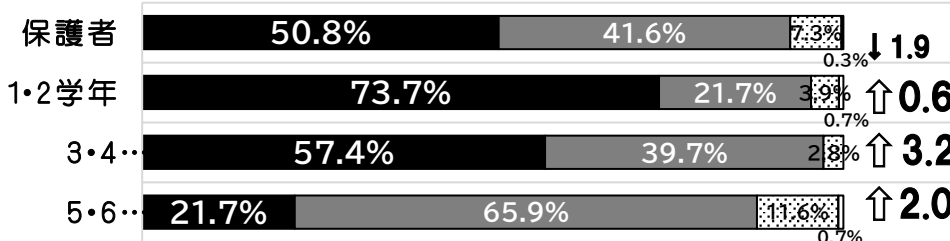
小学校の学習は積み重ねが大切です。分からないことをそのままにしないよう、学校では支援員等を配置しながら、サポートしています。ご家庭でも、学習の習慣が身につくようお声かけください。

③ 進んで運動に取り組み、体を動かすことを楽しんでいる



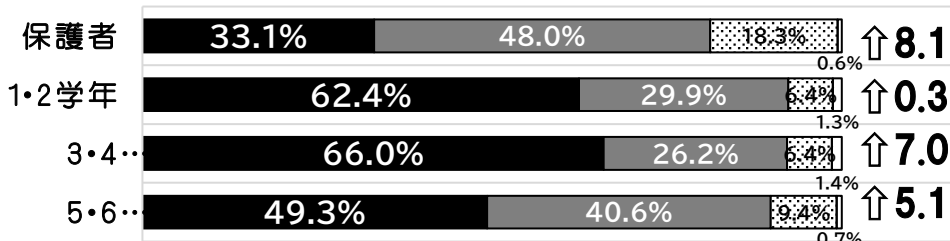
日々の体育の授業や休み時間など、元気に体を動かす児童が多く見られます。課題としては運動を通して「できるようになった」という達成感を得たり、「もっとやってみよう」という向上心をもたせたりすることです。「生涯体育」の観点で指導をすすめています。

④ 学校や家庭のルールを守って、生活しようと意識している



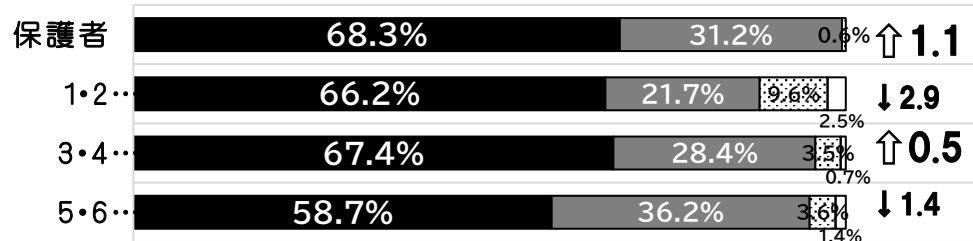
全体的に9割以上が規範意識高く過ごしています。昨今は SNS 関係のルールも重要視されていますので、目に見える子供の姿と目に見えないインターネット利用上のモラル等を大人がしっかり確認をする必要があります。

⑤ 自分からすすんで挨拶している



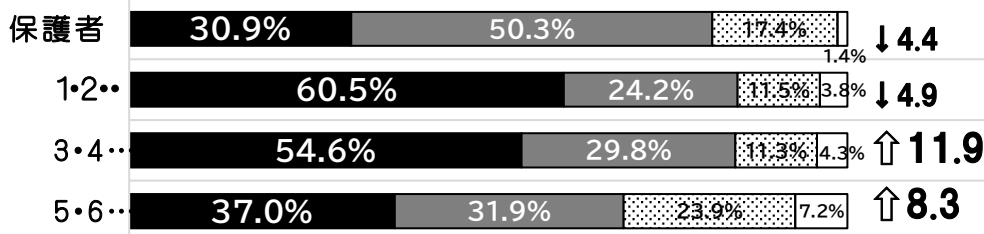
昨年度と比較して全体的に高評価となりました。校内でもすれ違うときなど自然に挨拶できる子供が増えています。このよい姿勢が継続できるよう、褒めていきたいと思っています。

⑥ いじめが良くないことだと理解し、友達の良いところを認め仲良くしようとしている



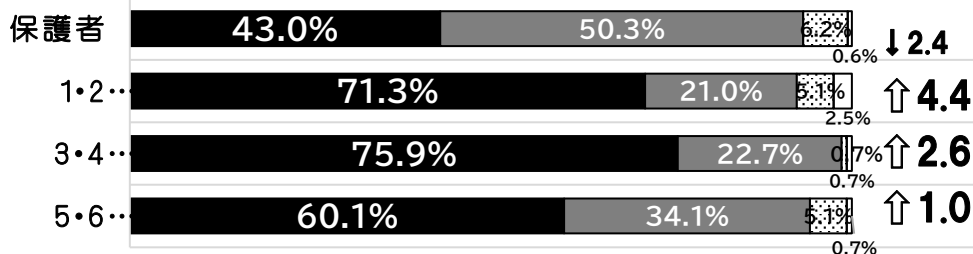
低学年以外は約95%が友達関係に対して良心的な理解をしています。1,2年生についても日々、集団生活や仲間づくりの経験を大切に、相手を尊重することができる関係づくりを指導しています。

⑦ 悩んだり困ったりすると、自分から家族や先生に相談できる



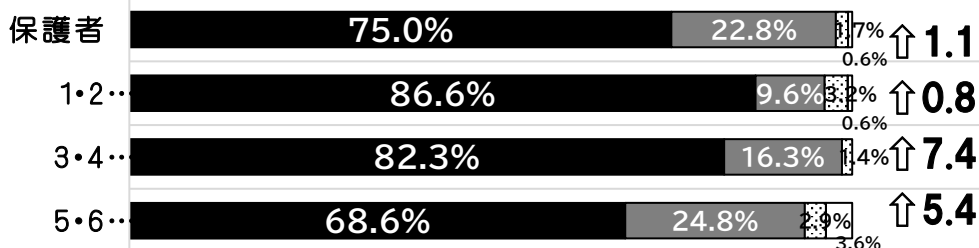
昨年までは、学年が上がるにつれて、相談することに抵抗を感じる子が多かったのですが、今年は3～6年生の回答が上向きになりました。子供たちが悩みを一人で抱えないよう、学校では多くの大人と関われるよう声をかけています。

⑧ 健康や安全に気をつけて生活することができる



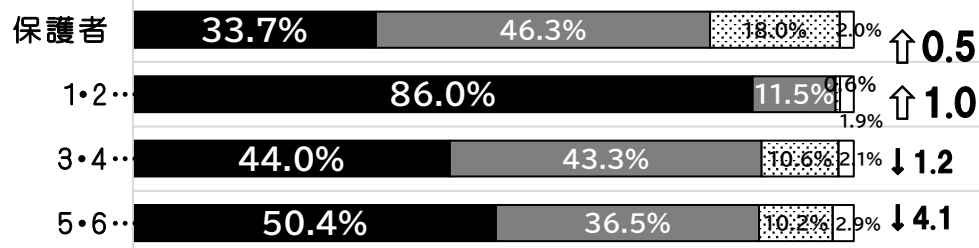
保護者の方の評価が下がっていることが分かります。最近では「ゲーム等で夜更かし」の話題がよく聞こえてきます。基本的な生活習慣は健康安全のためには欠かせません。ご家庭でもお気遣いをお願いします。

⑨ 学校行事を通して成長した



体育発表会や学習発表会では子供たちの成長を感じることができました。一方で運営上の課題についてはご意見をいただいています。今後もよりよい行事の実施を目指しています。

⑩ タブレット端末を学習に活用することができる



子供たちのタブレット活用はすっかり定着しており、文房具のように当たり前に使われるようになっています。一方で通信環境の整備や、保護者の方への説明などが今後の課題です。よりよく使いこなしていけるよう改善を進めます。

⑪ 学校は教育活動に必要な連絡や情報を、保護者に分かりやすく伝えている



⑫ 学校はお子さんが生き生きと取り組み、力を伸ばすことができるような、授業や行事の工夫・改善に努めている



⑬ 学校はお子さんの人権を尊重し、努力を認めたり励ましたりしている



⑭ 学校は連絡がしやすく適切に対応している



⑪～⑭は全て昨年度よりもよい評価をいただきました。これは教職員一同の励みになります。一方で、自由意見では様々なご意見をいただきました。次のページでまとめています。今後もより一層改善に努めていきます。

自由意見より

①児童用タブレットについて

「重い」
「使いづらい」
「視力が心配」
「もっと使ってほしい」
「使用頻度を減らしてほしい」

タブレットは、練馬区から貸与されており、その仕様や機能については学校裁量の余地はありませんのでご了承ください。数年ごとに端末の入れ替えがある予定で、その際は後継機となり、重さや操作面等が改善されるかもしれません。

使用方法やルールについては、児童はもちろん、保護者の方にも詳しく説明をし、便利に使っていただけるよう配慮していきます。

いずれにしてもタブレットは、今後の学習活動に不可欠となり、行政も力を入れていることから、使用頻度は高まっていくと思われます。

学習道具の一部として、上手に使いこなしていくためのスキルを身につけられるよう、学校と家庭とが連携して進めていくことが必要と考えています。

②連絡・配布物等について

「持ち物等の連絡を前もって
伝えてほしい」
「学年・給食だよりは紙で
配ってほしい」

Sigfy が導入され、ほとんどのお知らせをメールで送らせていただくようになりました。即時性があり、どこでも見ることができ、繰り返し見られることが利点だと考えています。学校だよりと給食だよりは、学校受付（職員玄関）に常時設置していますので、ご利用ください。

授業等での持ち物やその他連絡については、児童用タブレットのクラスルームを活用することがあります。欠席などで連絡帳が書けなくてもタブレットで確認ができるようにしていますので、家でもタブレットを確認する習慣をつけてほしいと考えています。授業で必要な持ち物等はあらかじめご連絡しておりますが、より分かりやすくお知らせできるよう改善していきます。

③行事について

「行事にもっと力を
入れてほしい」

学校行事は、日頃の学習の成果の場であると考えています。体育発表会や学習発表会など大きな行事に向けては、毎年教員一同で検討しており、保護者の方のご意見も参考にしています。行事の運営実施については、様々な条件、特に児童の心身の安全を一番に考慮しています。内容の加重は日常の教育活動への影響にもつながることもあり、行事のためにその他の活動がおろそかにならないことがないよう配慮しています。それでも、子供たちの成長を保護者の方と一緒に喜んでいけるような行事の実施を目指しています。ご理解くださいますようお願いいたします。

④指導について

「先生と子供とのかかわり方」

今回いただいたご意見は、教員一同拝読し、改善に努めています。子供たちの前に立つ大人として、良いお手本となることを念頭におき、日々向き合っているところです。

本校では担任・専科21名以外にも、22名の教員がいます。経歴40年以上のベテランから、1年目の若手もいます。それぞれが子供たちのよりよい成長のために悩みながらも真摯に懸命に向き合っています。その様子が保護者の方に詳細に伝わらず、疑問を抱かれることもあるかもしれませんが、そんな時はすぐにお問い合わせください。本校は教員間の連携が取れていますので、皆で対応していきます。

併せて、学校と保護者の方との連携も欠かせません。学校の様子やお家の様子など情報を共有しながら、お子さんのよりよい成長を共に目指していきたいと考えています。

⑤評価について

「評価がいまいで
わかりにくい」
「成績の評価が抽象的で
規準が分かりづらい」

通知表（あゆみ）の所見欄が年に1回（3学期）になったので、1、2学期については個人面談でお子さんの様子をお伝えしています。限られた面談時間の中で、伝わり切れないこともあるかもしれませんので、いつでもお問い合わせください。学習面の評価については、「できる」がついていれば習得できているとみなします。「よくできる」は、当該学年の教科の内容を総合的に見たときに、十分に達成できているということを指します。お子さんの学習の評価は、結果だけでなく過程も大切にして、「伸びた」ことに着目していただきたいと思います。評価規準の詳細は、ホームページに載せていますのでご覧ください。

★アンケートへのご協力ありがとうございました★